

No.137
2019
Summer

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication

女子総合優勝、明朗旗獲得！
男子総合準優勝、敢闘杯受賞！



CONTENTS

八戸工業大学第一高等学校

p 2-3 カラーページ
第72回青森県高等学校総合体育大会

p 4-5 第72回青森県高等学校総合体育大会／将棋全国大会出場／消防クラブ結団式／避難訓練／進路展望／保護者対象進路説明会／新入寮生歓迎会

八戸工業大学

p 6-7 自動車技術独創アイデアコンテスト最優秀賞／インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞受賞／震災復興応援賞／リビングスタイリスト1級／下北バスラッピング／新入生歓迎パーティ／体育祭／卓球部インカレ出場／電気学会優秀論文発表賞／アーチェリー部

p 8-9 コンニチハ、留学生／サークル紹介～eスポーツ愛好会・山岳部／新入生オリエンテーション／八戸工大発、目指せ！ローカルヒーロー

p 10-11 名誉教授／若手研究助成／学生支援センター談話会／就職支援／青森の土を学ぶ会／保護者後援会・蒼穹会／保護者懇談会／進学相談会／オープンキャンパス／2020年入試日程／8～10月主な日程

八戸工業大学第二高等学校

p 12-13 第72回青森県高等学校総合体育大会／高校総体ボクサー最優秀賞／ニューカレドニア高校生、来校／カレッジコース・情報ビジネスコース・美術コースの活動

さくら幼稚園

p 14-15 うんどうかい／みどりの風／ようちえんってこんなところ／とらんぼりん

八戸工業大学第二高等学校附属中学校

p 16 附属中学校／JAXA&東大見学／JAMSTEC講演会／オリエンテーション合宿

p 16 理事会・評議員会／ブランディング寄付のお願い



Mobile & iPhone & Android
モバイルサイトへアクセス▶▶▶

第72回青森県高等学校総合体育大会



男子総合準優勝 女子総合初優勝
敢闘杯獲得 明朗旗獲得

団体優勝

女子ソフトテニス部
 女子水泳部
 自転車競技部
 男子レスリング部
 男子ボウリング部
 男子ゴルフ部

団体準優勝

男子ソフトテニス部
 剣道部
 男子水泳部
 登山部

団体第3位

バスケットボール部
 男子バレー部
 柔道部
 女子ボウリング部



女子水泳部 6年連続12回目

女子ソフトテニス部 2年連続17回目

男子ゴルフ部 8年連続9回目



男子レスリング部 6年連続15回目



男子ボウリング部 4年連続10回目



自転車競技部 2年ぶり24回目

第72回青森県高等学校総合体育大会



(写真：本校で青森県高体連菅原文子会長より表彰)

第72回県高校総体を振り返って

5月31日から4日にわたり、「一瞬一秒勝利の元へ」のスローガンのもと、第72回青森県高等学校総合体育大会が開催され、県内各地の会場で熱き戦いが繰り広げられた。

今大会は、早期開催の自転車競技部の優勝から始まり、5月30日の結団式では、田名部智之PTA会長から「全校生徒の心をひとつにして、仲間を信じ全力で頑張ってもらいたい」と激励された。

本大会では、女子生徒の活躍が目覚ましく、ソフトテニス部、水泳部が優勝、ボウリング部が第3位となり、女子総合初優勝で明朗旗を獲得した。また、男子も自転車競技部、レ

スリング部、ボウリング部、ゴルフ部の4競技が優勝し、男子総合準優勝、敢闘杯を受賞した。ソフトテニス部男子、水泳部男子、登山部、剣道部が準優勝、第3位にバレーボール部、バスケットボール、柔道部が入賞した。スポーツ名門校としての証を示した。

部活動をする中でみんなが「楽しさ」「喜び」だけでなく、勇気、自尊心、友情などの価値観を実感できるようにしたい。そして生徒の意欲と満足度向上のために生徒、教員、保護者が三位一体となって取り組み、更なる飛躍を遂げたい。

結びに、日頃本校の教育活動にご理解ご支援を頂いている関係各位に改めて感謝申し上げます。

特別活動指導部長 石藤壽也

県高校総体優勝種目一覧

※ 特進：特別進学 スポ進：スポーツ進学

団体優勝

◆女子ソフトテニス 2年連続17回目

小野 未久(理系コース3年:階上中)
佐藤 野影(理系コース3年:黒石中)
高杉かりん(理系コース3年:板柳中)
川口 桃香(建築コース3年:白石中)
庭瀬 真風(建築コース3年:種市中)
工藤 芽依(特進コース2年:中里中)
中村 史帆(特進コース2年:大平中)
三上 結生(公務員コース2年:板柳中)

◆女子水泳 6年連続12回目

坪田 愛生(理系コース3年:鶴田中)
檜館 和音(特進コース2年:甲東中)
片野 亜依(スポ進コース2年:三条中)
佐藤 明香(普通科1年:北稜中)
中村 柚希(普通科1年:北稜中)
山下 歩莉(普通科1年:堀口中)

◆自転車競技 2年ぶり24回目

荒谷 駿輔(理系コース3年:八戸東中)
北城 純(文系コース3年:根城中)
高橋 翔夢(建築コース3年:八戸二中)
吉田 真聖(機械コース3年:古川中)
渡辺 朝陽(文系コース3年:小中野中)
白石 直努(電気コース3年:小中野中)
丸山 宗一郎(電気コース3年:名川中)
村上 由祐(電気コース3年:八戸一中)
赤坂 駿介(建築コース3年:豊崎中)
高橋 海月(建築コース3年:鮫中)

長岡 龍河(情報コース1年:大館中)
齊藤英伊須(電気コース1年:大館中)
清水 文聖(機械コース1年:八戸三中)
瀬川 大登(建築コース1年:根城中)

◆男子レスリング 6年連続15回目

関下 光輝(理系コース3年:白銀南中)
小川 颯太(文系コース3年:十和田東中)
平内 陽丞(土木コース3年:三沢一中)
鳴海 篤郎(建築コース3年:木造中)
吉田 珠理(スポ進コース2年:白銀南中)
佐々木海斗(公務員コース2年:鮫中)
佐藤 元哉(機械コース2年:鮫中)
川村 朔也(建築コース2年:下長中)
荒川 重満(普通科1年:白銀中)
久田 独歩(普通科1年:六戸中)
永野 颯大(普通科1年:下長中)

◆男子ボウリング 4年連続10回目

大平 一希(機械コース3年:市川中)
中村 祐麻(土木コース3年:根城中)
金濱 亮汰(情報コース2年:長者中)
藤田 洸和(電気コース2年:十和田中)
達也(機械コース1年:白山台中)

◆男子ゴルフ 8年連続9回目

工藤 風馬(機械コース3年:福岡中)
内海 将太(土木コース3年:蛇田中)
加瀬谷 駿(スポ進コース2年:稲川中)
赤石 拓斗(総合コース2年:二ツ井中)
中田 輝希(土木コース2年:階上中)

個人優勝

◆ウェイトリフティング 類家 寧大(機械コース3年:白銀中) +102kg級

◆女子ソフトテニス 小野 未久(理系コース3年:階上中) 女子ダブルス

◆男子ソフトテニス 川口 桃香(建築コース3年:白石中) 女子ダブルス

◆男子ソフトテニス 東 淳之介(普通科1年:中野中) 男子ダブルス

◆男子ソフトテニス 苦地勝成(普通科1年:三本木中) 男子ダブルス

◆男子ソフトテニス 工藤 結羅(文系コース3年:市川中) ライトウェルター

◆男子ソフトテニス 永野 颯大(普通科1年:下長中) 125kg級

◆男子ソフトテニス 上川 真実(スポ進コース2年:大館中) 53kg級

◆男子ソフトテニス 齋藤 美姫(公務員コース2年:八戸東中) 68kg級

◆男子ソフトテニス 関下 光輝(理系コース3年:白銀南中) 65kg級

◆男子ソフトテニス 小川 颯太(文系コース3年:十和田東中) 55kg級

◆男子ソフトテニス 平内 陽丞(土木コース3年:三沢一中) 60kg級

◆自転車競技 荒谷 駿輔(理系コース3年:八戸東中) スクラッチ・4km速度競争

◆自転車競技 北城 純(文系コース3年:根城中) 1kmタイムトライアル

◆自転車競技 吉田 真聖(機械コース3年:古川中) ポイントレース

◆自転車競技 赤坂 駿介(建築コース3年:豊崎中) ケーリン

◆自転車競技 坪田 愛生(理系コース3年:鶴田中) 100m背泳ぎ

◆水泳 小山内元氣(文系コース3年:中里中) 100m・200m平泳ぎ

◆水泳 工藤 高也(文系コース3年:平賀東中) 200m自由形

◆水泳 檜館 和音(特進コース2年:甲東中) 400m・800m自由形

◆水泳 片野 亜依(スポ進コース2年:三条中) 200m・400m個人メドレー

◆水泳 三橋 大朗(スポ進コース2年:戸山中) 200m・400m個人メドレー

◆水泳 山下 歩莉(普通科1年:堀口中) 200m背泳ぎ

◆水泳 小山内・長内・工藤・三橋 400mリレー

◆水泳 小山内・長内・工藤・三橋 800mリレー

◆水泳 小山内・長内・工藤・三橋 400mメドレーリレー

◆水泳 山下・片野・檜館・坪田 400mリレー

◆水泳 片野・檜館・佐藤・中村 800mリレー

◆ゴルフ 加瀬谷 駿(スポ進コース2年:稲川中)

◆ゴルフ 小笠原唯愛(スポ進コース2年:山王中)

……将棋部全国大会出場……



5月18・19日に青森県総合社会教育センターで行われた青森県高等学校将棋選手権大会において、中村叶愛さん（普通科1年／江陽中出身）が女子個人戦で準優勝を果たした。13名（5校）の参加で行われた女子個人戦において本校から出場した中村さんは、予選リーグ5戦全勝、決勝リーグ2勝1敗の成績で準優勝となり、7月30日、31日に佐賀県で行われる全国大会への出場権を獲得した。

消防クラブ結団式



6月4日、本校小体育館を会場に、消防署の方を招いて、消防クラブ結団式が実施された。少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までで結成されており、今年度本校からは男女合わせて68名の生徒が参加している。この日、代表の仙台泰斗君（電気コース3年／八戸二中）が地域防災の担い手として宣誓を行った。

本校の消防クラブは平成24年3月に結成され、今年で7年目を迎える。毎年、防災訓練などに参加し活動をしている。昨年度は活発な活動実績が評価され、消防庁長官賞を受賞している。

4月22日 避難訓練



4月22日、全校生徒・教職員が参加して、本校1階の給湯室より出火を想定した、火災時の避難訓練等が実施された。

避難訓練では、ハンカチやタオルを口に当て煙を吸い込まないようにし、教室や実験室などから避難場所への避難経路を確認しながら冷静に移動が行われた。避難袋を使用している訓練では、本校の3階に設置された避難用の袋を使用し、1階まで滑り降りた。

消火訓練では、訓練用の水消火器を使用して炎に見立てたカラーコーンをめがけて消火する訓練が行われた。参加した生徒は消火器の適切な取り扱い方や、消火する対象物までの距離などを、体験を通して学んでいた。

学校での非常時の避難方法や、避難設備について、広く学ぶ良い機会となった。

進路展望 ～関東方面企業訪問を終えて～



4月下旬と6月上旬に、進路指導部教員2名で県外企業訪問を行った。ここ数年間で採用になった企業へのお礼と卒業生の勤務状況等今年度の採用見通しを含め

た情報収集を目的としている。2回の訪問で37社を訪問した。

昨年度、初めて求人があった大手企業（電気工事関係）を訪れたところ、今春採用になった卒業生の研修（訓練）状況を見ることができた。直径約15cmの高圧電力ケーブルの外導剥ぎ取り処理という特殊技術の訓練を受けていた（写真）。地下現場でケーブルの接続作業には必須の技術であり、卒業生の今後の活躍が楽しみである。

訪問した殆どの企業では、昨年度を上回る活発な求人活動を計画しており、深刻な人手不足の状況を垣間見る思いがした。

なお、この他に企業訪問として県内企業約40社を3学年スタッフで訪問する予定である。今回の企業を訪問で得た情報等を今後の進路指導に役立たせたいと思う。

保護者対象進路説明会

6月8日、昨年度に続き八戸工業大学を会場に、保護者対象の「進路説明会」が開催された。「就職の最新情報」として本校掛端進路指導部長が、企業訪問を実施しての手応えや現3学年の進路希望状況について講演を行った。続いてフィナンシャルプランナーの久慈拓也氏より「保護者が知っておくべき進路のお話」として、特に進学に係る自己資金の蓄え方について講演をいただいた。参加した約90名の保護者は、最新の企業の情報や進学のメリット、進学にかかる資金についての上手な対処法を学んだ。

八戸工業大学長谷川明学長より歓迎の言葉を頂いた後、入試部次長信山克義教授が、大学進学の意義や学生生活について、また本校から八戸工大への進学する際のメリット等についての講演を行った。午後は、大学の施設・設備等の見学会が行われ、22名の保護者が約一時間にわたって大学担当者からの説明を受けながら学内を巡った。

新入寮生歓迎会



4月22日、2019年度新入寮生歓迎会が志学寮内の食堂で行われた。大きな志と親元を離れ不安を抱きながら入ってきた新入寮生が、仲間達と交流を深め充実した寮生活を送ることができるようにと、先輩らが激励の意を込めて行った。14名の新たな仲間を迎えた総勢42名、力を合わせ切磋琢磨し成長して欲しい。

自動車技術会東北支部主催 第29回自動車技術独創アイデアコンテスト最優秀賞受賞

6月8日、宮城トヨタ自動車本社で開催された、第29回自動車技術独創アイデアコンテストにおいて、機械工学科自動車工学コース4年濱浦匠さん（星槎国際高（写真左））、佐藤匡哉さん（八戸工大一高（写真右））が考案した「網膜認証安全確認システム」が最優秀賞を受賞した。

このシステムは、加齢とともに変化する瞳孔の大きさと瞳孔反射速度を検出することで、認知症の進行度合いを判断し、反射速度が基準を下回る場合に、自動車の起動が無効等となるよう車両のECUを制御するものである。

また、視線認識により安全確認をドライバーに促し、網膜認証でドライバー個々の識別をすることで盗難防止にも寄与する。



大学・高専部門へ28チームがエントリーし、予選を通過した6チームが、本選でポスター発表を行った。予選通過6チーム中2チームが本学という、快挙を果たした。

小坂谷教授 「第1回インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」を受賞

小坂谷壽一教授（大学院工学研究科電子電気・情報工学専攻）が、第1回インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞を受賞、5月13日、仙台市にて授与式が行われた。

この賞は、（公財）インテリジェント・コスモス学術振興財団が科学技術の推進を図る事業に加えて、東北が生み出した先見性のある文化を体系化して、内外に発信する優れた活動に対し授与するものである。

受賞対象となった「伝統音楽（津軽・南部三味線）保存用自動採譜装置の研究開発」は、三味線を弾けば自動的に西洋譜と三味線譜が作成される装置である。本研究は、三味線を始め邦楽音楽譜は独特で口伝えも多く正しい後世への伝承が難しいとされていることから発している。

小坂谷教授は、「本研究の実用化には未だ課題が残っており、東北から発信したこの技術が全国の民謡の保存、更には東南アジア始め全世界の譜面の無い民族音楽の保存につながれば幸いです。」と述べた。

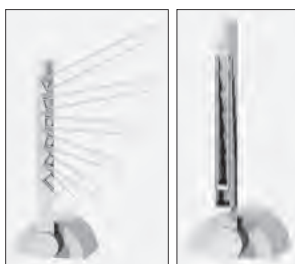


地域の魅力発信に貢献、感性デザイン学部

沓澤さん、震災復興応援賞受賞

平成30年度 デザインパテントコンテスト（主催：文部科学省、特許庁、日本弁理士会等）において、創生デザイン学科2年沓澤希実佳さん（秋田・湯沢高）が応募した「メモクリップ」のデザインが、震災復興応援賞を受賞した。デザインと知的財産権制度を学ぶ目的で実践してきたデザインパテントコンテストには、応募数650件から31件が優秀賞（意匠登録出願支援対象）に選ばれ、主催者賞を受賞した。

受賞の「メモクリップ」は同時に複数のメモを挟んで掲示することが可能であり、回動可能な複数のクリップ部が斬新なデザインと評価されて受賞に繋がった。（学年は2018年度）



リビングスタイリスト1級試験合格

3月、ビジネス社会で注目されているリビングスタイリスト1級試験に、創生デザイン学科金沢希歩さん（1年／千葉学園高）、高坂瑠美さん（3年／青森中央高（写真右上））・種市美友希さん（3年／八戸工大一高（写真左下））の3名がみごと合格した。（学年は2018年度）

リビングスタイリストには、コミュニケーション能力、問題解決能力、ビジネスマナー、情報収集と整理・発信、コーディネート力など接客に関わるトータルの能力が備わっていることが要求される。

創生デザイン学科では、学生のキャリアアップのために様々な資格取得を推進、指導協力を努めている。



下北ラッピングバスをデザイン

5月7日、下北ジオパークをPRするラッピングバスのお披露目がむつ市で行われ、下北交通の路線で運行されている。

ラッピングバスは2台あり、創生デザイン学科3年の高野亜子さん（野辺地高）と高橋祐賢さん（島根・立正大学浜南高）がそれぞれデザインをした。昨年秋から本学と下北ジオパーク推進協議会が連携して取り組み、12月にはデザイン案の発表会を行うなど、導入に向け協働を進めてきた。ラッピングバスは、明るいオレンジ色を基調に、下北の観光名所、水産物や動物、イルカの姿や漁の様子などが描かれている。



学友会主催、新入生歓迎パーティ

4月19日、本学メディアセンターにて、学友会主催の新入生歓迎パーティが開催された。サークル紹介、歓迎アトラクションが進むにつれ、新入生と上級生の会話も進み、会場は熱気に包まれていった。

小笠原永保学友会委員長(生命環境科学科3年/八戸工高)は、「100名以上の学生が参加してくれて嬉しい。新入生が1日も早く大学生活に慣れ、同期生や上級学年と交流ができるよう、歓迎パーティの場を活用してもらいたい。次年度に向け、歓迎アトラクションに参加してくれる新しい団体の開拓を図りたい。」と語った。



第48回体育祭

6月5日、体育会主催の第48回体育祭が開催され、学科学年を越え、学生、教職員がチームを組み、スポーツに汗を流した。多くの学生が参加できるよう、握力測定・ストラックアウト・スピードガン(投げたボールの速さを測る)・フライングディスクを体力測定種目とした取り組みも行われた。体育会では、体育祭ならではのユニークな賞品を準備し、参加者は優勝賞品獲得に、腕相撲を加えた全10種目で熱戦を繰り広げた。また、テニス種目に長谷川学長と工作技術センター三上職員のペアが参戦し華をそえた。



卓球部インカレ出場

5月17・18日、宮城県塩釜ガス体育館で開催された平成31年度東北学生卓球連盟春季リーグ戦およびインカレ予選にて、男子一部リーグ準優勝を果たした。

6月9日、花巻市総合体育館で開催された第72回東北学生卓球選手権大会ランキングでは、男子ダブルスで大

澤省吾さん(土木建築工学科1年/東奥学園高)、米村京之臣さん(土木建築工学科1年/東奥学園高)ペアが4位となった。

7月4日～7日、愛知県豊田市スカイホール豊田で開催された第89回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部(インカレ)への出場を果たした。



工藤さん、「電気学会優秀論文発表賞」を受賞 (平成30年度電気電子工学科卒)

今年3月に電気電子工学科を卒業した工藤巧さんが「電気学会優秀論文発表賞」を受賞、4月24日東北大学で授賞式が行われた。平成30年9月に岩手大学で開かれた「平成30年度電気関係学会東北支部連合大会」で発表した若手研究者が対象の賞で、工藤さんを含めて8人が受賞した。青森県唯一の受賞であり、若手研究者や大学院生が多く受賞する中での学部生の受賞は稀である。



発表論文名：

「植物由来ポリエチレンをブレンドしたポリ乳酸の絶縁破壊特性」

発表論文内容：

トウモロコシを原料とする「ポリ乳酸」は電気絶縁性が良好であるが、固い素材であるため電線被覆への適用は困難であった。そこで、工藤さんはポリ乳酸にサトウキビを原料とするポリエチレンをブレンドすることで、環境に優しく柔らかく、電気絶縁性の良い新素材の開発に成功し、さらにその新素材の絶縁破壊特性について明らかにした。

アーチェリー部

アーチェリー部は現在5名の部員で活動しており、その主軸をなしているのは土木建築工学科3年の田沢青輝君です。昨年は射形の崩れから不振にあえいでいましたが昨冬あたりから復調の兆しが見え、今シーズンは青森県の室内大会で優勝しました。

8月インカレ(ターゲット)予選、9月新人戦、12月インカレ(インドア)と重要な大会が続きますが全員インカレ出場を目指してさらに練習に励んでいきたいと思います。

(監督 畑中 広明)



【戦績】

- ・2019年度第16回東北学生アーチェリー春季選手権大会
4月7日 仙台市秋保森林スポーツ公園
田沢青輝6位入賞、松村昇吾7位
田沢・松村両名、全日本学生アーチェリー東日本大会出場権獲得
- ・2019年度 第51回東北学生アーチェリー王座決定戦
5月3日・4日 仙台市秋保森林スポーツ公園
団体3位、田沢青輝4位
- ・令和元年度菊池瑞穂杯アーチェリー大会
6月9日 五戸高校サッカー場
田沢青輝 優勝

コンニチハ、留学生

中国の新疆大学から、博士号の取得のため本学に留学している二人にインタビューしました。

Q 1. 留学のもうひとつの目的は？

鄭さん：職業レベルと研究能力の向上、視野を広げ最前線を学びたいです。

張さん：様々な文化や大学の雰囲気、教育システムを体験したいです。

Q 2. 何を研究していますか？

鄭さん：コンクリートの表面品質と表面浸透剤の塗布量の影響について

張さん：寒冷地における高耐久性コンクリートの材料設計について

Q 3. ご家族は？

鄭さん：夫といたずらでかわいい2人の息子がいます。

張さん：妻と両親がいます。家族の支援に感謝しています。

Q 4. 日本の生活の印象は？

鄭さん：心の温かいひとばかり。空港で紛失した荷物が手元に届き、驚きました。食べ物が新鮮、シーフードの種類が豊富で美味しいです。

張さん：親切で丁寧なひとが多い。どこへ行っても清潔で静かで心地よく、コンビニでもレストランでも食べ物がとても美味しいです。



コウ エンカ
鄭 艶華さん
(社会基盤工学専攻博士
後期課程1年)



チョウ ホウ
張 萌さん
(社会基盤工学専攻博士
後期課程2年)

新入生オリエンテーション

5月9・10日実施

機械工学科

機械工学科では、導入教育の一環として実際の生産現場を毎年見学している。今回は、岩手県 北上・花巻地域を訪れ、シチズンマシナリー(株)北上事業所にてCNC旋盤の製造現場、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場で自動車生産ライン、(株)ツガワ北上工場でプレスや旋盤の作業現場、(株)ツガワ花巻工場で受託開発製品の組立・調整・検査および梱包の現場を見学した。また、リーダー学生および教職員との親睦を深めるために北上総合体育館で綱引き大会を開催し、宿泊先では懇談会を行った。



電気電子工学科

新入生に八戸地域の魅力について体感してもらうと、世増ダム、旧世増集落ジオラマ、八戸市南郷歴史民俗資料館、八戸キャニオンを見学、山の楽校でのそば打ち体験、種差海岸散策などを行った。1日目、特定非営利活動法人ACTY理事長町田直子氏から八戸の地域振興について講演をいただいた。後に「八戸の魅力発信のためのアイデアづくり」についてディスカッションし、地域活性化のために何ができるかグループ発表を行った。新入生にとって、八戸地域への理解と関心が深まった有意義な2日間となった。



サークル紹介

新設「eスポーツ愛好会」に聞きました

Q 1. 始めた理由は？

eスポーツをしている友人から誘われて。プレイしているうちに団体戦や大会参加への興味が湧いて



Q 2. メンバーは？

3年生6名、2年生3名、1年生4名の計13名

Q 3. eスポーツの魅力は？

熱くなれる、仲間と協力するところ

Q 4. ゲームの種類は？

デジタルカードゲーム、バトルロワイヤル、シューティングゲーム、格闘ゲームほか

Q 5. これからしたいことは？

大会やイベントへ積極的に参加し、青森県のeスポーツ団体の代表に名乗れるぐらいになりたい。

部長 生命環境科学科3年

青池 遼(八戸工大二高)

システム情報工学科

エネルギー問題を支援するICT技術や情報産業の見学を目的としてオリエンテーションを実施した。六ヶ所村次世代エネルギーパークでは、むつ小川原ウィンドファーム、エネワンソーラーパーク六ヶ所村、国際核融合エネルギー研究センターを見学、青森市では東奥日報社本社を見学した。新入生は1日目のミーティングに積極的に参加し、2日目は仲間同士すっかり打ち解けた様子であった。キャリアデザイン教育の一環として参加したリーダー学生は、1年生とコミュニケーションをとり、ミーティングではサポートに回るなど、良い経験をしたようだ。



「山岳部」に聞きました

Q 1. 普段の活動は？

1カ月に1～2回のペース登山をしている。連休には積極的に県外の山へ挑戦するように心がけている。普段は、各自のスケジュールに合わせた自主トレがメイン。

Q 2. メンバーは？

3年生3名、2年生1名、1年生4名の計8名

Q 3. 山岳部の魅力は？

山は一日毎に景色が変わり、日常生活ではあまり感じる事ができない自然を体全体で感じられるところ

Q 4. これからしたいことは？

岩手県早池峰山への登山、これは毎年恒例行事にしたい。また、青森県内の百名山（岩木山、八甲田山）を部員全員で制覇したい。

Q 5. 登られた写真の山は、なんという山でしょう？

岩手県・早池峰山
(1917m)。

早池峰山頂上の避難小屋から見下ろした小田越登山道が印象的でした。



部長 土木建築工学科3年 植田 颯太 (岩手・釜石商工高)

八戸工大発、目指せ！ローカルヒーロー！

日曜日の館鼻岸壁朝市や歩行者天国に、新しいご当地ヒーローが出没している。

名前は HIT マン。映像研究部が特撮映像作品を作ろうと、2016年に10分ものパイロット版を作った事から始まった自作ドラマのヒーローである。現在のスーツは2代目。毎年秋に千葉県で開催されている「日本ローカルヒーロー祭」にも昨年から参加。部員の泉山英俊さん(システム情報工学科4年/八戸工高)は、「キャラクターの宣伝を通して大学のPRを行いたい。また、同様の活動をしている全国の学生と交流していきたい。三沢市の『アクションクラブ隼風』柏崎博志さん指導のもとスタントに磨きをかけ、後輩には、学園もののヒーロー作品の制作をめざして欲しい。」と話した。



生命環境科学科

盛岡市の(株)あさ開酒造の酒蔵(写真)と雫石町の太子食品工業(株)



のもやし洗浄ラインの見学を行った。本学科では食品衛生管理者・監視員の資格を目指す学生も多いせいか、新入生は大規模な工場を熱心に見学していた。宿泊する安比高原到着後は、自己紹介やリーダー学生との懇談を行った。翌日は晴天に恵まれ、ペンション街でグループ対抗オリエンテーリングを行い、写真撮影では1科ポーズをとるなど和やかな雰囲気となった。往路ではやや静かだったバスの車内は、帰路では賑やかとなり、新入生同士の親睦が深まった様子であった。



土木建築工学科

新入生が大学教育に円滑に取り組めることを目的に、オリエンテーションが



実施された。土木建築に関連する施設見学による研修、新入生相互やリーダー学生また教職員との交流など、親睦を深めるプログラムが組まれた。2日間に渡り、十和田市官庁街建築めぐり、国道103号青ぶな山トンネル避難坑工事(写真)、浅瀬石川ダム、史跡尾去沢鉱山、小坂康楽館の見学、奥入瀬溪流散策が行われた。普段見ることが出来ない建築物や工事現場の見学や、宿泊先での懇親会などを通じ、新入生相互の交流がはかられた。



創生デザイン学科

初日、岩手県奥州市・江刺蔵町モールを訪問。まちの歩き調査を行っ



た後、蔵を改装したカフェを借りて、「あったらいいな、蔵町空想マップデザインワークショップ」を実施した。学生たちは、まちの隠された魅力を掘り起こし、新たな観光体験を提案する空想マップをグループで完成させた。プレゼンでは、教員学生みんなで相互評価を行った。

2日目、童話村を中心にゆくりと探索、宮沢賢治の生き方や創造性を学んだ。学生たちは2日間を通じて、「日常世界は歩いて感じ入ること」「感じた価値をビジュアルで伝えること」の大切さを学んだ。



八戸工業大学名誉教授称号授与

6月26日、本学の教育、研究に対し長年の功労功績を称え、2名の教員に、長谷川明学長より名誉教授の称号が授与されました。

□若生 豊（わこう ゆたか）農学博士

昭和63年着任。食料化学および食品工学を専門とし、大学院学生を数多く育てた。食用菊中のガン細胞の増殖抑制物質の単離と同定など動植物抽出物の生理作用について活発な研究を行い、地元企業と食用菊を用いた食品・菓子の開発など地域貢献にも寄与した。



□佐野 公朗（さの きみろう）博士（理学）

平成3年着任。複素解析、超複素解析、クリフォード解析および数学教育を研究分野とし、中心的な立場で本学の数学教育に尽力した。「教養課程線形代数」、「計算力が身に付く微分積分」など多数の教科書を著し、本学を始めとして多数の大学で学生向けテキストに採用されている。



若手研究者が研究成果発表

5月30日、本学メディアホールで（一財）青森県工業技術教育振興会（理事長／長谷川明八戸工業大学学長）（以下、財団）主催の平成30年度若手研究者研究助成成果報告会が開催された。財団は、工学分野に関わらず若手研究者に助成しており、文系や一般教育系の研究者の応募も多い。なお、助成を受けた研究者には成果発表会が義務付けられている。

この日は、本学から7名、八戸工業高等専門学校から1名が発表した。

今年の傾向として、地域の課題に密着したテーマ、社会のニーズを反映した教材開発が目をひいた。

<研究課題より>

- ・三陸海岸北部の海岸植生の維持に関する環境要因について
- ・青森県南部方言の認知と理解
- ・計測と制御を学ぶための情報教育用教材の開発
- ・青森県の木造住宅生産システムにおける地域性に関する研究

「青森の土を学ぶ会」

5月24日、本学土木工学棟にて、土木関係従事者や学生が集まり、本年度第1回目の「青森の土を学ぶ会」の勉強会が行われた。この勉強会は、地盤工学的課題について、計画・調査・設計・施工および学術に関して総合的な観点から学ぶ事を目的としている。青森県は、全国でも有数の特殊土・問題土が広く堆積している地域で、地盤工学的課題が多い地域でもある。設計・施工・地盤技術者は日々土と向かい合い、新しい技術開発に余念がない。

講演では、当地域の関連技術者の実務の参考になればと、

学生支援センター談話会

5月17日、学生支援センターアドバイザー千葉隆史先生を講師にお招きし、「発達障がいのある学生の特性理解と対応」について、学生支援センター（基礎教育研究センター共催）談話会が開催された。発達障がい等をかかえながらも学習したいという学生を支援し、柔軟な対応に努めることが求められており、談話会には様々な指導経験をもった、あるいは今後の学生の指導に生かしたいという教職員が参加した。



前半は、講師から、学生が「何がしたいのか・何ができるのか・何が苦手なのか」を把握し、「困った学生」ではなく、「困っている状態の学生」として理解することの重要性や、発達障がい等が疑われる学生の特徴やそれらに応じた指導・支援の方法、合理的配慮などについて語られ、後半は、参加者とのディスカッションが行われた。

本学のキャリア支援の取り組み

本学では、「自己省察姿勢を身につけ、自立して自己成長に導く能力の育成」をキャリアデザイン・ポリシーとして掲げ、変化の激しいこれからの社会で主体的に生きる力を養成することを目指しています。そのために、キャリアデザインⅠ～Ⅲという科目を設け、ICTを活用したポートフォリオを用いて「主体性」の向上を図っています。また、これらの科目では、就職活動スケジュールや就職環境の変化などの様々な情報提供のほか、3学年から本格化する就職活動に向けて、自己分析、企業研究、履歴書・エントリーシート作成、面接対策などの講座も実施しています。

本学のこれらの取り組みを通して、これからの社会を生き抜く力を身に付けることを願っています。

学務部次長

小玉 成人



白神新一郎氏（錦城護膜㈱）が「プラスチックボードレーン工法に関する近年の開発技術」について、大河原文准教授（岩手大学大学院理工学研究科）が「粘土の膨潤とは－メカニズムから測定法まで－」について、事例を交えて発表を行った。



保護者後援会代議員会、蒼穹会総会

～学生の皆さんの活動を応援・支援します～

6月8日、八戸グランドホテルにて、保護者後援会代議員会(写真)ならびに蒼穹会総会が開催され、それぞれ平成30年度事業報告・決算、令和元年度役員委嘱・事業計画・予算他が承認された。



保護者懇談会日程

開催日	時 間	開催地	会 場
9月7日(土)	13:00～	弘前	ホテルニューキャッスル
9月8日(日)	13:00～	八戸	八戸工業大学
9月14日(土)	13:30～	青森	クロスタワー・ベイ
9月14日(土)	13:30～	秋田	ホテルパールシティ秋田 竿燈大通り
9月15日(日)	13:30～	仙台	仙台ガーデンパレス
9月15日(日)	13:30～	盛岡	エスポワールいわて

2019年進学相談会日程

開催日	開催時間		開催地	会 場
	開始	終了		
8月30日(金)	15:30	18:30	秋田	アルヴェ
9月10日(火)	15:30	18:30	青森	青森国際ホテル
9月11日(水)	15:30	18:30	八戸	八戸プラザアーバンホール
9月17日(火)	15:30	18:30	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡本館
11月6日(水)	15:00	18:00	八戸	八戸プラザアーバンホール
11月7日(木)	15:00	18:00	弘前	ヒロロスクエア
11月13日(水)	15:00	18:00	秋田	アルヴェ
11月26日(火)	15:00	18:00	盛岡	アイーナ

8～10月の主な日程

8／1～6	前期定期試験期間
8／4	オープンキャンパス②
8／7～9／15	夏季休業
9／6～13	学部前期補習・再試験期間
9／17	後期授業開始
9／21	AO 第1クール
10／12～13	学園祭・入試対策講座



夏のオープンキャンパス

■開 催 日

7月21日(日)、8月4日(日)

■プログラム

学科体験実習、キャンパスツアー、大学周辺バスツアー、保護者向けガイダンス、学生生活紹介、学食体験、学科紹介ブース、各種相談コーナー など

詳細は決定次第、本学ホームページでお知らせいたします。

お問い合わせ：0120-850-276
(入試課フリーダイヤル)



2020年度入試日程

クール		エントリーカード受付期間 (必着)	面談日
AO 入学試験	第1クール	9月1日(日)～9月13日(金)	9月21日(土)
	第2クール	11月15日(金)～11月22日(金)	11月30日(土)
	第3クール	1月27日(月)～1月31日(金)	2月10日(月)
	第4クール	3月1日(日)～3月6日(金)	3月12日(休)

入試区分		エントリーカード受付期間 (必着)	面談日
特別入学試験	社会人	11月15日(金)～11月22日(金)	11月30日(土)
	外国人留学生		
	帰国生		

入試区分		願書受付期間(必着)	試験日
推薦入学試験	指定校制	11月1日(金)～11月8日(金)	11月16日(土)
	公募制	11月25日(月)～12月11日(水)	12月16日(月)
一般入学試験	前期	1月6日(月)～1月24日(金)	2月4日(火)
	後期	2月17日(月)～2月28日(金)	3月6日(金)
センター利用 入学試験	前期	1月6日(月)～1月28日(火)	2020年1月18日(土) ・1月19日(日)の 大学入試 センター試験
	中期	2月1日(土)～2月14日(金)	
	後期	3月1日(日)～3月19日(休)	

第72回青森県高等学校総合体育大会



5月31日～6月3日、第72回青森県高等学校総合体育大会が青森市を主会場に開催され、本校からは16競技に約350名の選手が出場した。多くの3年生が今大会で部活動の引退となるため、どの運動部もこれまでの集大成として、ベストを尽くせるよう日々鍛錬を重ねてきた。

団体競技では、男子硬式テニス部（団体）と女子サッカー部が決勝進出を果たした。決勝戦では惜しくも敗れてしまったが、持てる力を出し切り、見る者を感動させる準優勝となった。また、残念ながら入賞できなかった部活動も、チーム一丸となり、最後まで諦めない姿勢で戦い抜いた。どの部員も心身ともに逞しく大きな成長を見せた熱い高校総体であった。写真は、柳谷理事長に準優勝の報告をした、テニス部主将の溝口遼河君（カレッジコース3年／白銀南中）と、サッカー部原田玲奈さん（カレッジコース2年／三本木中）。



高校総体ポスター
最優秀賞



第72回青森県高校総合体育大会ポスターコンクールにおいて、最優秀賞に磯嶋洋平君（美術コース2年／白銀中）、優秀賞に清藤百花さん（美術コース2年／むつ中）が選ばれ、5月31日に青森市で行われた高総体総合開会式の会場で表彰された。

最優秀賞の磯嶋君の作品は、少林寺拳法をモチーフにしたもので、関節技で相手を投げける女子選手を、ダイナミックに描いている。磯嶋君自身が少林寺拳法の経験者でもあり、リアリティのある描写につながった。この作品はポスターの他、総合開会式プログラムの表紙を飾った。

ニューカレドニアの皆さん
ようこそ、二高へ

7月2日～6日、本校生徒とその家族が、八戸市を訪れたニューカレドニアの高校生の一団を、4泊5日のホームステイで受け入れた。男子4名、女子9名の総勢13名が各13家庭の一員として、忘れられない日本

滞在を満喫した。本校では、歓迎式から始まり、日常の授業や生け花体験、そして大学見学など充実の日程を過ごした。本校生徒にとっても、忘れられない国際交流となった。



カレッジコースの活動

SC・AC合宿

4月19日～21日、小川原湖青年の家にて3学年合同SCオリエンテーション合宿を実施し、70名の生徒が参加した。新入生は勉強の取り組み方を学び、2・3年生は勉強に集中するための基本的な生活習慣の見直しをはかり、気持ちを新たに学習に取り組んだ。



6月14日～16日、3年生のアクティブカレッジクラス57名による勉強合宿会が、岩手県北青少年の家で行われた。生徒は高校総体終了後、スムーズに受験生に切り替えることを目標に、非日常的な空間に身を置いて、学力や生活力の伸張を図り、受験生としての意識を高めた。



総合学習

2学年の総合的な学習の時間では、生徒の希望進路に合わせて7つの系統に分かれ、独自の活動を行っている。6月19日、系統ごとに企画した体験学習が実施された。そのうち医療・福祉系選択者62名は総合リハビリ美保野病院を訪問した。リハビリテーションの重要性、患者さんや利用者さんとの接し方を学んだ。また、PTやOT、STの仕事の様子を見学し、医療に対する意識を高めた。

一方、理学・工学系選択者32名は学校内で株式会社サステクノより、パワーアシストスーツの説明を受けた。国民病である腰痛の



負担軽減のために開発されたこのスーツは、幅広い分野で使用されており、生徒たちは、実際に着用してその効果を確認した。「重い荷物を持っても腰への負担をほとんど感じない。着用することで高齢者が労働力として活躍していけるのではないか」と、少子高齢化問題について考えや関心を深めた。

情報ビジネスコースの活動

清掃奉仕活動

6月15日、雲がかかり暑すぎず寒すぎずとあったちょうど良い天気の中、蕪島・館鼻岸壁・魚市場周辺の清掃奉仕活動を行った。



例年実施している清掃活動は、2・3年生のリードのもと、全学年が一緒に活動をする情報ビジネスコース生同士の交流の場でもある。

生徒達は、ウミネコバクダンに悲鳴を上げながら清掃を行い、それぞれにタバコの吸い殻など細かなゴミを探して拾っていた。市の観光地や産業を支える場所を綺麗に保つことは、クリーンパートナーとして市に貢献することでもある。生徒達には、公共のマナーについて学ぶ機会ともなった。

MCクラス看護・医療体験学習

6月10・11・13・14日の4日間、メディカルカレッジクラス2年生が、階上町の「かつこうの森」にて介護実習を行った。



医療と密接な関係にある介護現場の理解を深めることを目的として、施設の職員の方の補助にあたった。利用者の方々と交流することで、高齢者をサポートする現場が、利用者やその家族をどのように支えているかを学んだ。

6月15日、本校会議室において「看護の日・看護週間事業『みんなで話そう～看護の出前授業』」を実施した。講師に十和田市こっ子まんま助産院の山端澄子氏を迎え、実体験や看護師として大切な心構えなど講演いただいた。医療・看護系の進路を希望する生徒が参加し、講演に真剣に耳を傾けていた。講演の最後に、ベッドでの着替え介助の仕方や、血圧測定の方法などを実際に教わり、看護の仕事の楽しさや難しさを学んだ。

6月18日、メディカルカレッジクラス3年生が、八戸第一養護学校とはまなす医療療育センターを見学した。子どもたちが障害による学習上または生活上の困難の克服と、自立を図る教育現場から、医療・福祉・教育の総合的支援の在り方を学ぶ良い機会となった。



上の困難の克服と、自立を図る教育現場から、医療・福祉・教育の総合的支援の在り方を学ぶ良い機会となった。

美術コースの活動

スケッチ実習

5月27・28日、美術コース全学年による校外スケッチ実習を実施した。この行事は毎年5月に行われており、今年は十和田手づくり村鯉艸郷、階上寺下観音の2カ所に分かれ、花のある風景や寺や自然などを題材にスケッチした。

両日とも晴天に恵まれ、強い陽射しが美しいコントラストを作っていた。手づくり村鯉艸郷では、ルピナスをはじめ辺り一面に咲き誇る春の花が風景描写に豊かな彩



りを与えていた。寺下観音では、小川・樹木・建物など様々な風景が広がっており、生徒達はそれぞれ気に入った場所で集中して制作に取り組んでいた。



うんどうかい



～開会式～



「ころんでもなかないぞ、エイエイオー!!」

～年長遊戯「かんしゃで★よっしゃ!!」～



「こころをひとつに、なるこをならすぞ!!」



～年少親子ゲーム～



「ももたろうになって、おにをやっつけるぞ!!」



～年中かけっこ～

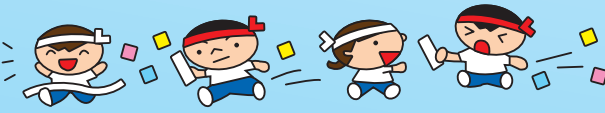


「ゴールをめざして、がんばるぞ☆」

～八戸工業大学吹奏楽部～



「おにいさん、おねえさん、えんそうとおてつだい
どうもありがとうございました。」



第49回運動会が6月29日（土）に開催された。「一等とるぞ!」「絶対負けないぞ!」とやる気満々で当日を迎えた子どもたち。競技は年中組のかけっこから始まり、その後、年少、年長と進んだが年齢に応じて競技意識や、勝敗結果でのリアクションも違いそれぞれの姿を見せていた。親子ゲームや親子ダンスでは笑顔満開で楽しんでいた。玉入れや綱ひきでは、声をからすほどの声援が送られていた。最後は、年長児全員によるリレーで最高の盛り上がりを見せ競技は終了した。新学期が始まり3ヶ月。個人差はあるものの最後まで頑張り、練習の成果を発揮してくれた。プレゼントをもらった子どもたちは、ご機嫌で帰っていった。

よい環境に感謝

みどりの風

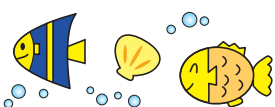
いま年長組に通っている息子は、工作が好きで、幼稚園で作ったコップの楽器や、ペットボトルの昆虫を得意そうに見せてくれます。父の日には、私の顔が書いてある紙皿の状差しをもらいました。とても嬉しかったので、職場の机の上に飾ってあります。

息子は家でもよく工作をしています。この前は、ラップの芯と箱をくっつけて何かを作っていました。息子に聞くと、

これは武器でビームが出て「これでオバケ退治をするよ、バンバン!!」「この穴からはドラゴンが出て、パパの後をついて歩くよ」と笑顔で話してくれました。彼の頭には、いろんな想像が詰まっているに違いありません。さくら幼稚園の先生やお友達と楽しく過ごしていることで、彼の世界は大きく広がっているのだと思います。よい環境に感謝しきりです。



ばら組 おがわとしやくんのお父さん
小川 太郎さん



ようちえんってこんなところ



～年長組の畑～



「おいしいトマトが
できますように!!」

～保育参観～



「おかあさんといっしょに
たいそうしたよ。たのしいな!!」

～幼年消防クラブ編入式～



「ひあそびはしません。
しょうぼうしさんとおやくそく!!」

～遠足～



～八戸公園 三八五こども館～
「ブランコにのって、ハイポーズ!!」



とらんぽりん

～ある日の保育日誌～



満3歳いちご組 5月29日(水)

真ん中がはいっている黄色のブロックを円形に組み合わせたものをパイナップルに見たて、鞆いっぱい詰めて遊んでいた。「パイナップルおいしいんだよ」と私や近くにいた年少組の友達に話すなどままごと遊びを楽しんでいた。しかし、片づけ時間になっても「まだあそびたいー、あそぶのー」と言っ一向に片づけようとしなかった。「また明日遊ぼう」と声を掛けるとすんなり片付けができた。さあ明日はどうか。



「いろんなせんが
できたよ。ピーだま
コロコロ～」

年少組 6月3日(月)

運動会の全体練習では、体操が始まっても動かずただ立っていたAちゃんとB君。部屋で親子ダンスの練習をするとB君照れながらも踊りだした。「上手だね」とほめると更に元気によく踊っていたが、Aちゃんは全く動こうとしない。「どうして踊らないの?」と聞くと、「だってはずかしいもん。おどらないよ」の返事。「おかあさんがきたら、おどるけどね」と笑いながら私の肩を「ぼん」と叩いて行った。なかなか手ごわい…!

年中組 5月23日(木)

待ちに待った遠足。行きのバスからずっとそわそわし、テンションを抑えきれない様子の子どもたち。動物を見て回ると、リスの可愛らしさと素早さに思わず「すごい」と感激の声が聞かれた。サル山の水飲み場を見て「いいふろがあるね、はいりたいな」と言う子もいた。お弁当もほぼ全員完食し、「うちに食べたら、ママにありがとうするんだ～」と嬉しそうにしていた。なかよく遊んだり、お弁当食べたり、楽しい一日となった。



「マーブリングで
できたもよう、
おもしろいな!」

年長組 6月5日(水)

これまでの避難訓練が身につけているようで、火事を知らせる放送が聞こえるとすぐ指示されたブランコの前に集まった。放水体験ではホースを持つと「なんだか、つなひきみたいだね」と話していた。写真撮影の後、消防自動車について教えてもらい、興味津々で様々な装備に見入っていた。地震や津波が来た時の避難についてのDVDを見て「つなみって、こわいんだよね」「すぐにげないと、だめなんだよね」などと話していた。

JAXA & 東京大学を見学



5月31日から6月1日にかけて、2年生14名は、茨城県つくば市にあるJAXAつくば宇宙センターと、東大駒場リサーチキャンパス公開2019を見学した。

JAXAつくば宇宙センターでは、実物大の人工衛星や国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」などを、施設見学ツアーでは、宇宙飛行士養成棟の様子や国際宇宙ステーションの管制室などを見学した。

東京大学駒場リサーチキャンパスでは、深海探索にむけての自律ロボットや、高輝度照明を用いたの広範囲探索技術などの展示と、ホログラムを用いた光メモリー開発に向けた研究についてのレクチャーを受けた。どちらの見学も、実物の世界最先端科学技術に直接触れる機会であり、生徒たちにとって大きな刺激となる研修会であった。

JAMSTEC 講演会

4月9日、国立研究開発法人海洋研究開発機構の田代省三氏をお招きして、「JAMSTEC講演会」を開催した。田代氏は、長年、有人潜水調査船のしんかい2000やしんかい6500の操縦士を務め、海洋生物や海底地形についての調査をした方である。生徒たちは、深海にすむ非常に珍しい生物の映像に大変興味を持ち、生物の生態や大きさについて積極的に質問していた。また、日本周辺の海底地形やそこに住む海洋生物の話聞き、日本が海洋生物の宝庫であることを学んだ。さらに、潜水調査船の操縦士や海洋に関わる仕事についての話もしていただき、進路選択についてのアドバイスもいただいた。豊富な話の内容に、生徒は真剣に聞き入っていた。



オリエンテーション合宿



4月12・13日、種差少年自然の家にて、附属中学校の生徒としての自覚を高め、お互いの親睦を深めることを目的としてオリエンテーション合宿を実施した。

1、2年生が一緒に班となり、校歌の練習・ワークショップ・せんべい焼き体験に取り組んだ。

ワークショップでは、先輩から後輩へ学校生活をおくるにあたってのアドバイスをしてもらい、お互いのコミュニケーションを深めた。また、せんべい焼き体験では、手焼きした熱々のてんぼせんべいを頬張った。

～ご寄付のお願い～

○「八戸工業大学研究ブランディング事業活動支援金」

2017年度、本学は文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択され、地域の「安全・安心・快適な暮らしの創造」と「農林水産業・工業・観光業など産業・雇用の活性化」に貢献することを目的として、インフラ・地域づくりに関連する人材の育成と研究成果の社会実装も含めた総合的インフラ研究拠点の構築を目指し教育と研究に取り組んでおります。

この目的を達成し多くの成果を生み出すためには、地域の皆様からのご意見やご協力が必要です。主旨をご理解いただきご支援下さいますようお願いいたします。詳しくは、下記HPをご覧ください。



<https://www.hi-tech.ac.jp/branding/donation.html>

理事会・評議員会

◇4月26日理事会

- ・「学校法人八戸工業大学人材育成・評価規程」制定に関する件
- ・学校法人八戸工業大学資産運用に関する件

◇5月31日理事会・評議員会

- ・平成30年度監査報告に関する件
- ・平成30年度事業報告に関する件
- ・平成30年度決算に関する件

◇5月31日理事会

- ・八戸工業大学「名誉教授の称号」授与に関する件
- ・学校法人八戸工業大学資産運用に関する件
- ・八戸工業大学第一高等学校教育基金に関する件

◇6月28日理事会

- ・「学校法人八戸工業大学就業規則」改正に関する件

【お詫びと訂正】

蒼穹136号12ページ「第45回入学式」の記事に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げ、下記の通り訂正いたします。
(誤) 佐々木七海 (正) 鈴木七海

表紙 八戸工大一高 県高校総体結果を理事長へ報告